

戦国争乱期の法隆寺

秀長とその時代

法隆寺に遺された
天下人の記憶



織田信長朱印



豊臣秀長花押

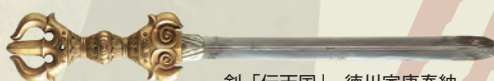


徳川家康像

大坂冬の陣
決戦前夜の地



剣「信国」 徳川家康奉納



剣「伝天国」 徳川家康奉納



短刀「長光」 梅花皮拵



短刀「吉光」

戦を鎮める
数千の奉納武具

2026年 4/24金 ▶ 6/14日

休 無休

午前9時～午後4時30分 (入場は午後4時まで)

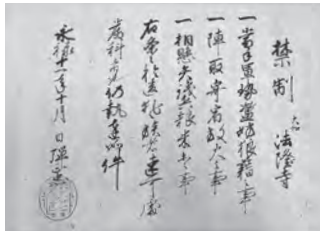
大人500円 / 小学生250円

法隆寺大宝藏殿

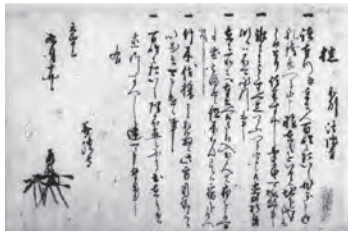


金箔押阿古陀形十二間筋兜

戦国争乱期の法隆寺 秀長とその時代



重要文化財 織田信長禁制



豊臣秀長掟書



検地帳 (太閤検地)



扁額 豊臣秀次書



国宝 金堂部材 (慶長修理)

武家と歩んだ戦国の法隆寺

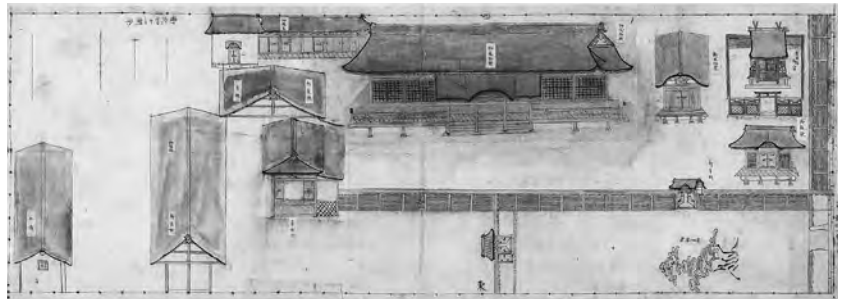
古来、幾多の武の力と対峙し、その法灯を護り続けてきた法隆寺。本展では、天正十三年に大和の国主となった豊臣秀長の治世を中心に、天下の覇権が移り変わる激動の時代を紐解きます。克明に刻まれた書状の数々から、戦国という荒波を生き抜いた寺院の知られざる実像を提示いたします。



鉄燈籠 赤松氏範寄進

大坂冬の陣 決戦前夜

慶長十九年十一月十六日、大坂冬の陣の決戦を前に、徳川家康公は法隆寺「阿弥陀院」に宿り、戦地へと赴きました。戦国の帳は、法隆寺より降ろされました。



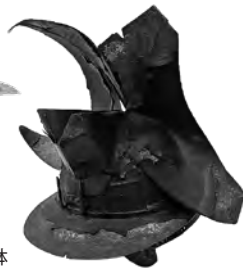
東照宮様御宿坊阿弥陀院図



刀 銘「兼定」



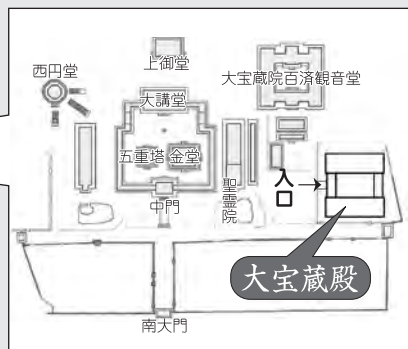
短刀 銘「則長」



帽子形兜鉢

法隆寺に眠る 数千の奉納武具

法隆寺西円堂には、平和を願い、古くから膨大な数の武具が奉納されました。本展では、奉納刀約五十本をはじめ、鉄砲・槍など、法隆寺に託された武具の数々を一堂に展示いたします。



聖徳宗総本山

法隆寺

〒636-0115

奈良県生駒郡斑鳩町 法隆寺山内1-1

TEL (0745) 75-2555

<https://www.horyuji.or.jp>